

人に誇れる住まいとサービスを提供したい—— 高みを目指して挑戦する気鋭の経営者

株式会社 Move

福岡県福岡市中央区那の川 2-7-2-104

URL : <https://move111.com/>

大手不動産会社で輝かしいキャリアを蓄積し、2024年1月に『Move』を設立した桑原社長。仲介業務からスタートし、今後は自社物件開発にも意欲を見せている。さらなる活躍が期待される社長のもとをタレントのつまみ枝豆氏が訪れ、インタビューを行った。



interviewer
つまみ枝豆



代表取締役社長
桑原 大



——早速ですが、桑原社長のこれまでの歩みからお聞かせください。

福岡県出身です。中学に入ってから甲子園出場を夢見て野球に打ち込み、努力が実って志望していた公立の強豪校に合格できたものの、甲子園の夢は叶いませんでした。その後、怪我もあって大学では野球を続けることを断念しましたが、アルバイトを通して働いてお金を稼ぐことの魅力を感じたんです。それで「20代で上京して、30歳で起業したい」と考えるようになりました。

——実際に学業修了後は上京されて？

はい。2015年、東京にある不動産会社に就職しました。2018年には福岡支社の開設メンバーとしてこちらに戻ってきて、20代でマンション営業部の責任者に抜擢されたんです。そして2024年の今年、1月に当社を設立して現在に至ります。

——輝かしいキャリアを重ねておられたのに独立された経緯とは？

勤務先の人事評価システムに思うところがあり、ある程度の役職に到達した時、これ以上の成長は望めないと考えたんです。それで自分で事業を手掛けようと独立を決意しました。かつて30歳で独立したいと思っていましたが、今31歳なので、大学時代に思い描いていたイメー

ジ通りに進んでいて驚いています。

——ずっと東京にいれば地元で起業というのは難しかったかもしれませんが、勤務時代にこちらに戻ってこられていたのが良かったのかもしれませんが。

そうですね。ゼロからのスタートでしたが、東京で3年、福岡で5年仕事をしてきたので、その中で培ってきたつながりが大きな財産になっています。

——滑り出しはいかがですか。

まだこれからといったところですが、良いスタートを切れたと手応えを感じています。前勤務先ではずっと自社物件の新築マンションを扱っていたのですが、独立していきなり自社物件開発はハードルが高い。まずは不動産の仲介業務から始めています。私自身未経験の分野ではありますが、貪欲に学んで着実にノウハウを積み重ねていければと考えています。そうして、ある程度実績ができれば事務所を移転して人材を雇用して事業規模を拡大していきたいですね。

——まだお若いですし伸びしろは充分ですね。お仕事をされる中で、どんなことを大切にしていきたいとお考えですか。

不動産の購入は、人生で一度あるかなにかの大きな買い物。だからこそ、家族や知人にも自信を持って紹介したくなるような、人に誇れる住まいとサービスを

提供していきたいと考えています。

——最後に、これから5年後、10年後の目標や夢をお聞かせください。

今や不動産会社はコンビニぐらい店舗数が多いと言われていますが、どこにも負けない自信はあります。また、ゆくゆくはデベロッパーとしてもフィールドを広げていければと考えています。多くのお客様に選んでいただける存在、福岡で一番の売上を誇る不動産会社に成長していきたいです。

——本日はありがとうございました！
(2024年4月取材)



「立ち上げ間もない『Move』さんですが、桑原社長とお話をさせていただいて、不動産業やお客様に対する熱い想いが伝わってきました。これからどんな会社になっていくのか楽しみです。今後のご活躍を応援しています！」つまみ枝豆・談